

柏尾の百年史



平成 24 年 3 月

「柏尾の100年史」編纂委員会

「柏尾の100年史」編纂について

「柏尾の100年史」編纂委員会 委員長 齋藤純一

「柏尾の100年史」を編纂することの本来の目的は、私たちが永年住んでいるこの歴史ある柏尾町に「記録として残された歴史」が皆無であり、そのまま放置すればその歴史が風化し、忘れ去られてしまうことを危惧し、それを出来るだけ早い時期に自分たちの手で「記録化」したいという思いからであります。

しかしその前に「柏尾町内会館の建設」という10年来の課題があり、漸く平成22年3月に落成を迎えることができたことで「柏尾の100年史編纂」へ注力することができるようになりました。同年4月の定期総会で承認を受けた後一定の準備期間をおいて、平成23年2月に委員会を発足させ本格的な活動を開始いたしました。

当初は柏尾町内会だけでの運動と考えていましたが、具体的な活動を進めていく過程で柏尾小学校及びPTA関係者から「柏尾小学校の社会科の資料として使いたい」との要望があり委員会に加わっていただくことになりました。また柏尾町内会と一緒に発展してきた地域企業・事業所・商店の皆さんとも懇談会等を通じて知り合い、更には柏尾町内会もその一員として日常的な地域活動を展開している柏尾地区連合町内会からも委員を出していただくこととなり、まさに地域ぐるみの歴史編纂事業となることができました。

この間、町内会の回覧等を通して資料の提供を呼び掛けましたところ、多くの方々から貴重な資料や写真集の提供があり、また関係者への寄稿依頼にも多くの方から積極的な対応をいただきました。誌面を借りて心より御礼申し上げます。

一口に歴史の編纂と言いましても、調べれば調べるほど奥行きが深く、1年間という短期間での調査には限界があることを承知の上で、今回はまず「第1期の調査発表」という形で記念誌の発表をさせていただくことに致しました。従いまして、状況が許す限り、今後5年、10年掛けてこの続編を編纂していきたいと考えております。

この記念誌には、柏尾に生まれ永年戸塚区の地域活動に専念された益田茂平氏の貴重な手記も含まれております。茂平氏の言によるまでもなく「望郷の念に駆られ」生きている間に「歴史の1ページにたとえ1行で良い、その記録を残したい」そうした熱い思いを胸に私たちはこの編纂を行ってきました。そしてこの記念誌が次の時代を担う多くの若者たちへの贈り物として読み継がれていただければ至上の喜びであります。

こうした地域ぐるみの歴史編纂事業に対し、戸塚区役所区政推進課を通して横浜市の「元気な地域推進づくり」事業への申請を行っていただくことができ、今回の記念誌発行に対しては資金的な助成をしていただくこともできました。ありがとうございます。

最後になりますが、「柏尾の100年史編纂」を共に企画し、運動を立ち上げた矢先に重い病に倒れ、完成を待たずに平成23年3月に他界された前柏尾町内会長齋藤宣雄氏にこの記念誌を捧げたいと思います。ありがとうございました。



記念誌発刊のお祝いの言葉

「柏尾の100年史」発刊に寄せて

横浜市戸塚区長 葛西光春

皆さん、こんにちは。戸塚区長の葛西です。

この度は「柏尾の100年史」の発刊、誠におめでとうございます。

平成23年2月の編纂委員会の立ち上げから1年余、冊子の編纂に関わった全ての皆様へ、心からお祝い申し上げます。

柏尾地域は、不動坂の名称の由来となった不動尊や王子神社などの史跡を持ち、近年では、旧川上小学校の柏尾分校からの長い歴史を持つ柏尾小学校を主な拠点として、地域が一体となったイベントが活発に行われている、という印象を持っています。

「柏尾の100年史」は、こうした地域の歴史が忘れ去られることのないように記録化したいという皆さんの思いから生まれたものだとお聞きしました。写真や資料の収集、関係者への聞き取り等非常に多くの作業でご苦労もあったことと思いますが、それだけに完成した現在の喜びはひとしおなのではないでしょうか。

戸塚区役所では、多様化・複雑化している地域課題の解決に向けて「住民同士のつながりづくり」を支援しています。

そういった中、地域の歴史を明らかにするという作業により、地域の特徴・課題やその背景を共有することができたり、地域でこれまで活躍してきた担い手が改めてクローズアップされるといった効果があるように思います。そして今後地域で活動を進めていく上で貴重な資料となると同時に、精神的な支柱にもなるのではないのでしょうか。

この100年史は今回、作業に一応の区切りをつけて発刊されるということですが、今後さらに史料を集めて続編を発行したいという話もあるとのこと、楽しみにしております。

最後に、今後の柏尾地域のますますの発展をお祈りして、お祝いの言葉とさせていただきます。



「柏尾の100年史」発行を祝って

柏尾地区連合町内会 会長 瀬田 正一

「柏尾の100年史」記念誌発行に心よりお祝い申し上げます。

昨年末に編纂委員会より出席要請があり初めて会合に参加させていただきました。当初は数名の方で編纂委員会が開催されているのではないかと思いましたが、驚いたことに20名近くの方が出席されていました。

柏尾町内会からの委員の方が中心になり纏められておりましたが、地域学校部門、地域企業部門、或いは商店の皆さんも出席され、各部門より数々の資料提出があり、打合せが熱心に行われていました。

私も歴史には興味があり柏尾地区を良く探索していますが、一般的な歴史資料と比べてこの「100年史」は地元の方が、読みたい気持ちになると思います。今から楽しみにしています。

こうして編纂委員会を立ち上げ、短期間で「柏尾の100年史」が100頁にもなる規模で編纂され発行される訳ですが、この事業が地元町内会単独ではなく、地域学校、地域事業所、そして連合町内会までを含めて一体化された形で進められていることは大変意義のある事と思います。更に私が記念誌で素晴らしいと思ったことは、柏尾町の住民の皆さんだけでなく、関係企業、学校、商店等の皆さんから沢山の資料・写真の提供、或いは寄稿、情報提供があった事です。

昭和初期は、柏尾地区は約70世帯しかなかったと聞いていますが、現在は約3,200世帯になり私を始めほとんどの皆さんがこの間に柏尾地区に転居してきています。今回記念誌の発行がこのように短期間で出来たのは、編纂委員と地元住民との日常的な絆の強さがあったからではないかと感じています。

柏尾地区も、いつ大きな地震災害に見舞われるかもしれません。また日常的な地震以外の災害の危険にもさらされています。こうした中で、防災・防犯、更には減災していくには隣近所との絆を強め、自治会町内会の相互の話し合いを進め、この地域にあった住み良い街づくりをしていくことが大切だと思います。

最後に、「柏尾の100年史」に携われた皆様、本当にご苦労さまでした。この記念誌は永久に保存され、地域の人々の心に残るでしょう。



「柏尾の100年史」発刊に寄せて

横浜市立柏尾小学校長 巻木博明

この度の「柏尾の100年史」の発刊、誠に
おめでとうございます。

柏尾町内会におかれましては、長年の懸案事項
だったとお聞きしていますが、まずはその第一ハ
ードルを越えたことになるのではないでしょ
うか。

私は平成22年4月1日付けで柏尾小学校に
着任いたしました。それまでは柏尾の地域のこ
とは、全くと言っていい程知りませんでした。と
ころが、勤務して日数が経過してくると、柏尾の地域には歴史的な財産がいっぱ
い残っており、史跡の宝庫であることが分かってきました。とは言っても、編纂
委員会を発足して、資料の収集から執筆に至る過程は平坦ではなかったら
うと容易に推察できます。何処に聞きに行ったら分かるのだから、誰に聞いたら分
かるのだから、どこの文献で調べたらよいのだから、等々のご苦勞をいっぱい体験
されたのではないのでしょうか。でも、少しずつ文章に表すことができた、ある
いは古地図等の地図に表すことができた、等々と目に見える形にできた時の達成感
や就成感などを体感できたことは、編纂委員の皆様だけが享受できた特権だと思
います。

発刊された「柏尾の100年史」を一読することによって、今まであまり知ら
なかった柏尾のまちについて、認識を新たにされるのではないのでしょうか。ある
いは、今まで以上に詳しく知ることができるのではないのでしょうか。まさに、「温
故知新」という言葉の通り、柏尾のまちの昔のことを知ることによって、柏尾の
まちを大切にしていこうとする気持ちや態度等がこれまで以上に芽生えてくるこ
とと確信いたします。そのことが、とりもなおさず故郷（ふるさと）柏尾の発展
にもつながるのではないのでしょうか。

編纂委員の皆様、本当にお疲れ様でした。それと、本校児童の学習に役立つよ
うにとのご配慮から、柏尾小学校にも150部寄贈していただき、誠にありが
うございました。誌面を借りて、柏尾町内会の役員の皆様と会員の皆様に感謝と
御礼を申し上げます。



< 目 次 >

「柏尾の100年史」編纂について	i
編纂委員会委員長 齋藤 純一	
横浜市戸塚区長 葛西 光春	
柏尾地区連合町内会会長 瀬田 正一	
横浜市立柏尾小学校長 卷木 博明	
柏尾100年の歩み	viii

I 柏尾と柏尾町内会編

1 地図から見た柏尾の移り変わり	1
(1) 柏尾の字の紹介	1
(2) 地図・航空写真で見る柏尾の100年	2
2 「柏尾町内会」の発足	4
3 「町内会」結成以前の組織	4
4 歴代柏尾町内会長	6
5 柏尾公民館の歴史	7
6 柏尾青年団(会)について	10
7 柏尾町の年間行事について(連合町内会行事も含む)	12
(1) 納涼盆踊り大会	13
(2) 王子神社祭礼	13
(3) 初午稲荷講	14
(4) どんど焼き	15
8 柏尾の史跡・旧跡	15
(1) 御祭神護良親王命と王子神社 【寄稿】	15
(2) 浄土真宗本願寺派 成正寺 【寄稿】	17
(3) 鎌倉ハムの由来	18
(4) 大山不動尊 (横浜市地域史蹟・柏尾の大山道道標)	21
(5) 「五太夫橋」の由来	22
(6) 益田家のモチノキ	23
9 柏尾の沿革	24
10 柏尾の昔	24
11 柏尾の原風景	28
(1) 成正寺本堂落成祝いと稚児行列	28
(2) 不動坂とワンマン道路	29
(3) 益田俊夫邸の解体と新邸建築の記録 - 古いものから新しいものへ -	30

12	柏尾市場	32
13	益田茂平氏手記	34
	(1) 谷戸の大池について.....	34
	(2) 下柏尾 大正時代の地名と戸数	35
	(3) 下柏尾消防団とは	36
	(4) 柏尾の祭礼.....	37
	(5) 鎌倉ハムの製造について	37
	(6) 谷戸の大池について 2.....	38
	(7) ビンガラ編み.....	38
	(8) 関東大震災大惨事	38

II 柏尾地区連合町内会編

1	柏尾地区連合町内会の誕生について	41
2	加盟自治会町内会の紹介	42
	(1) 上柏尾町内会	43
	(2) 柏陽台アパート自治会	43
	(3) 柏尾富士見台自治会	43
	(4) 柏尾台自治会	44
	(5) 横濱戸塚優彩の街自治会	45
	(6) 東戸塚グリーンハイツ自治会	45
	(7) 東戸塚マンション自治会	46
	(8) 県営柏尾アパート自治会	46
	(9) 番外編 - トツカプリンセスの誕生 -	46
3	柏尾地区連合町内会の年間行事	48
	(1) 秋季レクリエーション大会	48
	(2) 少年少女スポーツ大会	49
	(3) 大人のインディアカ大会	51
	(4) 元旦マラソン	52
	(5) さわやかウォーク	53
	(6) 餅つき大会	54
	(7) 防災訓練	55

III 地域学校編

1	柏尾の学校のはじまり.....	57
	(1) 柏尾小学校ができるまで	57

(2) 柏尾町に小学校が二つ.....	58
2 旧川上小学校の思い出について.....	60
(1) 学校について	61
(2) 授業について	62
(3) 学校での遊びについて	62
(4) 昼食について	62
3 昔の通信簿(あゆみ)	63
4 旧川上小学校の思い出について 2.....	64
5 柏尾会の発足の経緯について.....	65

IV 地域事業所・施設・商店編

1 森紙業株式会社	67
2 ポーラ化成工業株式会社	68
3 山崎製パン株式会社	69
4 株式会社ブリヂストン	70
5 六国建設株式会社	71
6 アマカンパニー	72
7 長沼紙器印刷株式会社	72
8 江橋住宅総合サービス.....	73
9 柏屋商店 - 地元と共に -	73
10 齋藤牛肉店 「横屋」の由来	74
11 手打ちそば やぶ忠	75
12 舞岡柏尾地域ケアプラザ	76
13 柏尾小学校コミュニティハウス.....	77
14 柏尾スマイル保育園	78
15 柏尾のびのび学童保育所.....	78
16 柏尾郵便局	79
17 舞岡中学校 - 柏尾の100年史によせて -	80
18 戸塚消防署吉田消防出張所の概要	81

参考資料及び資料提供者名	82
--------------------	----

編纂委員紹介	84
--------------	----

編集後記（柏尾の明日へ）	85
--------------------	----

柏尾100年の歩み

(明治末、大正、昭和、平成／地域の歩みと日本・世界の歩み)

柏尾の100年 概略史 (1/2)

西暦	和暦	月日	柏尾概略史	掲載頁	日本	世界
1868	明治元				明治維新	
1870	明治3		英人ウィリアム・カーティス、川上村下柏尾でホテル営業	18		
1887	明治20		下柏尾で鎌倉ハム製造始まる	19		
			東海道線戸塚駅開設			
1890	明治23		横浜市に「衛生組合」設立	4		
1984	明治27					日清戦争
1898	明治31		鎌倉ハム 帝国海軍に貯蔵食料品として採用	19		
1902	明治35		鎌倉ハム セントルイス万博で銀賞受賞	19		
1903	明治36	12月 1日	正進学校・敬讓学校を併せ、川上小学校開校	57		ライト兄弟初飛行
1904	明治34					日露戦争
1908	明治41				尋常小学校高等科併置	
1910	明治43		柏尾川堤防に桜木を栽植			日韓条約調印
1911	明治44	1月 29日	戸塚町青年会創立(大正15.5戸塚青年団と改称)			
1912	明治45					中華民国成立
1914	大正3	7月 28日				第1次世界大戦
1917	大正6		柏尾に電気が入る	24		
1918	大正7	8月 16日			米騒動	シベリア出兵
1920	大正9	1月 10日	第1回国勢調査、人口28,843人			国際連盟発足
1922	大正11					ソ連邦結成
1923	大正12	9月 1日			関東大震災	
1924	大正13		柏尾公民館落成式	7		
1925	大正14	1月 24日	鎌倉郡役所落成		普通選挙法成立	
1926	大正15	10月 28日	公設消防組設置、齋藤萬治氏組頭就任	5,36		
1929	昭和4	10月 24日				世界恐慌始まる
1930	昭和5		不動坂に鉄骨火の見やぐら建設	5		
1931	昭和6	3月 31日	東海道1号国道の舗装工事竣工	25		満州事変
1932	昭和7	5月	川上消防組 表彰記念写真帖発刊	4		
			(合)柏屋商店開業	73		
1933	昭和8	12月 7日	戸塚競馬場において初競馬			
1934	昭和9	3月 13日	王子神社 護良親王600年記念祭開催	16		
1936	昭和11	1月 1日	柏尾公民館土地賃貸借契約書締結	8	2・26事件	
		7月 11日	戸塚駅開設50年祝賀会挙行			
1937	昭和12	6月 11日	日立製作所戸塚工場操業開始			日中戦争
1938	昭和13	7月 1日	ブリヂストンタイヤ 横浜工場操業開始	70	国家総動員法公布	
1939	昭和14	4月 1日	鎌倉郡内の1町7か村(戸塚・川上・・・)			第2次世界大戦
		4月 1日	上柏尾町内会発足	43		
			横浜市に合併、戸塚区誕生(柏尾町誕生)	4		
			旧川上小学校に二宮金次郎銅像建設	64		
1940	昭和15	2月	柏尾郵便局開局(現森紙業付近)	79		
		9月 11日			隣組誕生	
1941	昭和16	2月 11日	横浜市町内会結成記念大会開催	4	尋常小学校を国民学校と改称	
			戸塚区は61町内会、柏尾町内会発足			
		12月 8日			真珠湾奇襲攻撃	太平洋戦争
1945	昭和20	8月 15日			終戦	
1946	昭和21	11月 1日	戸塚区体育協会発足		日本国憲法公布	
		11月 3日	川上連合青年団結成	11		
1947	昭和22				教育基本法公布	トランジスタの発明
						インド独立
1948	昭和23	5月 15日	川上農業協同組合設立			
		5月 28日	不動坂巡査派出所 柏尾町442に設置	29		
		3月	戸塚消防所発足	81		
1949	昭和24	8月 9日	川上青年団 第4回青年体育大会で優勝	11		
1950	昭和25					朝鮮戦争
1951	昭和26	3月 24日	戸塚区社会福祉協議会発足		日米安全保障条約	
1953	昭和28	5月 29日	戸塚共立病院開院			エベレスト初登頂
1954	昭和29		柏尾市場開設	32		
1955	昭和30	2月 1日	ワンマン道路開通	29		
1957	昭和32	4月	県営柏尾アパート自治会発足	46		
1959	昭和34	10月 1日	戸塚区制20周年記念式典			
1960	昭和35	3月	森紙業(株)関東事業所 操業開始	67		
		4月 1日	川上地区連合町内会発足(9自治会町内会)	41		

柏尾の100年 概略史 (2/2)

西暦	和暦	月日	柏尾概略史	掲載頁	日本	世界
1961	昭和36	1月 6日	長沼紙器印刷(株)操業開始	72		最初の有人宇宙飛行
1962	昭和37	2月 15日	舞岡中学校開校	80		
			成正寺本堂再建	17,28		
			ポーラ化成工業(株)横浜事業所創業	68		
1964	昭和39	4月	山崎製パン(株) 横浜工場操業開始	69	東京オリンピック大会	
		8月 2日	横浜ドリームランド開園			
1965	昭和40					ベトナム戦争
1967	昭和42		柏尾郵便局 上柏尾町201に移転	79		
1969	昭和44	4月 1日	柏尾小学校開校	57	東名高速道路開通	アポロ11号月面着陸
1970	昭和45	5月 17日	首洗い井戸の碑 完成			
1972	昭和47		吉田町にスーパーダイエー誕生	33	沖縄本土復帰	
1973	昭和48				オイルショック	
1974	昭和49	4月	柏尾台自治会発足(80世帯)	44		
1976	昭和51		「社会を明るくする運動」始まる	49	ロッキード事件	
1977	昭和52	2月 6日	柏尾富士見台自治会発足(68世帯)	43	日航機ハイジャック事件	
		5月 1日	こは保育園開園			
		11月 3日	第1回区民祭り開催			
			第3期柏尾町内会青年会発足	11		
		10月 10日	第1回「柏尾体育大会」開催	48		
1978	昭和53		第1回柏尾元旦マラソン大会開催	52	日中友好平和条約	
		11月 1日	(有)江橋住宅総合サービス設立	73		
1979	昭和54	4月	柏陽台アパート自治会発足	43	東京サミット開催	
		5月 10日	吉田消防出張所開設	81		
		7月	東戸塚マンション自治会発足(70世帯)	46		
1980	昭和55	10月 1日	湘南電車 戸塚駅に停車実現			
			東戸塚駅開業			
1981	昭和56	4月 1日	のびのび学童保育所 横浜市委託事業認可	78		
		9月	やぶ忠 柏尾に店舗開設	75		
		7月 17日	益田家のモチノキ 県指定天然記念物	23		
1984	昭和59	4月 1日	戸塚スポーツセンター開館			
1985	昭和60	3月 14日	地下鉄舞岡駅開業		日航機墜落事故	
		4月	東戸塚グリーンハイツ自治会発足	45		
		7月 1日	柏尾富士見台自治会館完成	43		
						チェルノブイリ原発事故
1987	昭和62	5月 24日	地下鉄戸塚駅開業		国鉄分割民営化	
			柏尾台自治会館完成	44		
1988	昭和63		六国建設有限会社設立	71		
1989	平成1	3月 25日	横浜博覧会開幕			
			戸塚区史 区政50周年記念誌発行			
			アマカンパニー操業開始	72		
1990	平成2	3月	大山道道標 横浜市地域史蹟に指定	21		湾岸戦争
		4月 1日	柏尾地区連合町内会発足	41		
1991	平成3					ソ連崩壊
1992	平成4				学校週五日制スタート	
1993	平成5		第1回柏尾ウォーク開催	53		
1995	平成7				阪神・淡路大震災	
					地下鉄サリン事件	
1997	平成9				消費税5%	
1999	平成11	4月	柏尾小学校コミュニティハウス開設	77		
2000	平成12		柏尾地区連合町内会10周年記念式典			
		6月	舞岡柏尾地域ケアプラザ開設	76		
2001	平成13	4月 1日	横濱戸塚優彩の街自治会発足	45		同時多発テロ
			第1回大人のインディアカ大会開催	51		
2002	平成14		第1回柏尾地区餅つき大会開催	54		
2006	平成18	4月 30日	第4期柏尾町内会青年会発足	11		
2007	平成19	10月		79	郵政民営化	
2009	平成21		戸塚区制70周年、横浜開港150周年			
2010	平成22	3月 21日	柏尾町内会館落成式	9		
		5月 30日	柏尾公民館解体	14		
		11月 7日	柏尾地区連合町内会20周年記念祭	41		
2011	平成23	4月 1日	柏尾スマイル保育園開園	78	東日本大震災	
		11月 12日	舞岡中学校創立50周年記念祭	80		
		11月 26日	川上小学校創立120周年記念祭			
2012	平成24	3月 25日	柏尾の100年史発刊			
		12月	トツカプリンセス開設(317戸)予定	46		

